

平成25年度の事業報告

自 平成25年10月1日 至 平成26年9月30日

I. 展覧会

1. 第42回「日本の書展」直轄展

下記の直轄4展を開催。42回直轄4展の出品者総数は3,527名で、41回展に比べ158名減少。入場者数は、直轄4展合計で14,924名、前回に比べ5,643名減少。

41回展に続き今回も、出品者には図録（現代書壇巨匠・現代書壇代表・委嘱作品と全出品者名簿を掲載）および出品者本人の作品ブロマイドを2枚ずつ贈呈した。

42回展では経費節減のため、講演会と記念品（現代書壇巨匠の出品作品絵はがき1枚を贈呈）は中止した。

(1) 関西展

会 期 平成26年5月29日（木）～6月1日（日）

会 場 大阪国際会議場（3階イベントホール）

主 催 （公財）全国書美術振興会 産経新聞大阪本社

後 援 文化庁

協 賛 （公社）日本書芸院

開催披露レセプション 平成26年5月29日（木）12:30～14:00

リーガロイヤルホテル 3階 光琳の間

関西展の出品数は、巨匠15点、代表74点、委嘱27点、招待373点、秀拔選609点、合計1,098点、会期中の入場者数は2,237名だった（前回41回展の入場者数は2,778名）。

産経新聞社の紙面協力、日本書芸院の協賛も得ている。

会期初日の5月29日（木）12時30分から、リーガロイヤルホテル3階「光琳の間」において開催披露レセプションを行い、来賓・出品書家・招待者合わせて355名の出席があった。

レセプションでは、当会津金孝邦代表理事・理事長、荒船清彦代表理事・会長の主催者代表挨拶、産経新聞社専務取締役・大阪代表 齋藤勉氏から共催者挨拶があった後、日本書芸院会員 井茂圭洞名誉顧問の書家代表挨拶へと続き、特命全権大使関西担当 三輪昭氏の乾杯発声で祝宴に入り、14時過ぎに終了した。

(2) 中部展

第1会場

会 期 平成26年6月4日（水）～6月8日（日）

会 場 愛知県美術館ギャラリー

（愛知芸術文化センター8階 展示室A・B・C・D・E・F）

第2会場

会 期 平成26年6月3日（火）～6月8日（日）

会 場 名古屋市博物館（3階ギャラリー全8室）

第1会場・第2会場とも

主催 (公財) 全国書美術振興会 中日新聞社
後援 文化庁 愛知県 岐阜県 三重県 名古屋市
各県市教育委員会 東海テレビ放送

協賛 (公社) 中部日本書道会

開催披露レセプション 平成26年6月4日(水) 18:00~19:45
名古屋東急ホテル 3階 ヴェルサイユの間

中部展の出品数は、巨匠15点、代表74点、委嘱17点、招待157点、秀拔選562点、合計825点、会期中の入場者数は、愛知県美術館・名古屋市博物館の両会場合わせて3,869名だった(前回41回展の入場者数は5,807名)。

中日新聞社の紙面協力、東海テレビ放送の放映協力、中部日本書道会の協賛を得ている。第1会場初日の6月4日(水)18時から、名古屋東急ホテル3階「ヴェルサイユの間」において開催披露レセプションを行い、来賓・出品書家・招待者合わせて329名の出席があった。

レセプションでは、当会津金孝邦代表理事・理事長、荒船清彦代表理事・会長の主催者代表挨拶、中日新聞社常任顧問 小山勇氏から共催者挨拶があった後、中林露風参事の書家代表挨拶へと続き、東海テレビ放送株式会社事業局専門局長 加藤昭宏氏の乾杯発声で祝宴に入り、19時45分に終了した。

(3)東京展

会期 平成26年6月12日(木)~6月22日(日) 6月17日(火)は休館日
会場 国立新美術館(展示室1A・1B・1C・1D)

主催 (公財) 全国書美術振興会 共同通信社

後援 文化庁

開催披露レセプション 平成26年6月12日(木) 12:30~14:15
ホテルオークラ東京 本館1階 平安の間

東京展の出品数は、巨匠15点、代表74点、委嘱35点、招待539点、秀拔選792点、東京展合計1,455点、他展の委嘱(関西展委嘱27点・中部展委嘱17点・九州展委嘱10点)も加わり、総展示数1,509点で当会としては最大の展示数。

会期中の入場者数は7,348名だった(前回41回展の入場者数は9,751名)。

会期初日の6月12日(木)12時30分から、ホテルオークラ東京本館1階「平安の間」において開催披露レセプションを行い、来賓・出品書家・招待者合わせて456名の出席があった。

レセプションでは、当会津金孝邦代表理事・理事長、荒船清彦代表理事・会長の主催者代表挨拶、株式会社共同通信社代表取締役社長 古賀尚文氏から共催者挨拶があった後、衆議院議員・書道国会議員連盟会長 河村建夫氏の来賓祝辞へと続き、独立行政法人国際交流基金理事長 安藤裕康氏の乾杯発声で祝宴に入り、14時15分に終了した。

書道国会議員連盟からは、河村氏の他に、副会長の塩谷立氏、事務局長の関芳弘氏の出席もあった。

(4)九州展

会期 平成26年7月10日(木)~7月15日(火)

会場 福岡アジア美術館(7階企画ギャラリーABC・8階交流ギャラリー)

主催 (公財) 全国書美術振興会 西日本新聞社

後援 文化庁

開催披露レセプション 平成26年7月10日(木) 18:00～19:30
 ホテルオークラ福岡 4階 平安の間

九州展の出品数は、巨匠15点、代表74点、委嘱10点、招待111点、秀拔選206点、合計416点、会期中の入場者数は1,470名だった(前回41回展の入場者数は2,231名)。西日本新聞社の紙面協力を得ている。

会期初日の7月10日(木)18時から、ホテルオークラ福岡4階「平安の間」において開催披露レセプションを行ったが、台風の影響もあり、来賓・出品書家・招待者合わせて71名の出席だった。

レセプションでは、当会津金孝邦代表理事・理事長、荒船清彦代表理事・会長の主催者代表挨拶、西日本新聞社取締役営業本部長 満生剛氏から共催者挨拶があった後、師村妙石参事の書家代表挨拶へと続き、松清秀仙評議員の乾杯発声で祝宴に入り、19時30分に終了した。

2. 第42回「日本の書展」巡回展

現代書壇巨匠と現代書壇代表の89点については、関西展、中部展、東京展、九州展の直轄4展終了後、本会・共同通信社・各地元新聞社の共催、文化庁後援により、約1年間をかけて、地方9カ所を巡回している。現在3番目の栃木展まで終了。

第42回「日本の書展」巡回展 実施会場一覧

	開催地		地元主催新聞社	会場	会期	地元 作品数	入場者数
1	富山	高岡市	北日本新聞社	富山県高岡文化ホール	26.7.18～7.21	186	2,443
2	鳥取	米子市	山陰中央新報社	米子市美術館	26.8.21～8.24	200	805
3	栃木	宇都宮市	下野新聞社	FKDショッピングモール宇都宮インターパーク店	26.8.27～8.31	316	2,672
4	青森	青森市	東奥日報社	青森市民美術展示館	26.9.4～9.8	299	1,015
5	広島	広島市	中国新聞社	福屋広島駅前店 8・9階催事場	26.9.25～9.30	662	21,389
6	岡山	岡山市	山陽新聞社	天満屋岡山店 6階葦川会館	26.10.15～10.20	575	4,439
7	奈良	奈良市	奈良新聞社	奈良県文化会館	27.2.18～2.22	(230)	(3,158)
8	長野	長野市	信濃毎日新聞社	長野県信濃美術館	27.3.3～3.8	(230)	(1,281)
9	茨城	水戸市	茨城新聞社	茨城県立県民文化センター	27.4.11～4.16	(279)	(1,554)

※ () 内の数字は前回第41回展の実績

3. 第42回「日本の書展」東京展 公募臨書

会期 平成26年6月12日(木)～6月22日(日) 6月17日(火)は休館日
 前期展示 平成26年6月12日(木)～6月16日(月)の5日間
 後期展示 平成26年6月18日(水)～6月22日(日)の5日間

会場 国立新美術館(展示室1Dの一部 51～53室の3室)

主催 (公財)全国書美術振興会 共同通信社

後援 文化庁

2012(平成24)年の第40回から東京展に新設・併催された公募臨書も今回3回目となる。出品点数は994点で、前回の870点より124点増だった。

平成26年1月23日に、国立新美術館審査室で審査委員11名による入選・落選の審査鑑別を行ったが、入選率50%を念頭に置いた審査をし、結果、入選数は496点、入選率は49.9%となった。内訳は下表参照。

出品整理料は前回同様1,000円で、入選作品は表具をして国立新美術館に展示した。今回も壁面展示となる半切たて作品の出品が大変多いため、51～53の3室を使用し、壁面展示は2段掛けとし（前回も52～54の3室に2段掛け）、本展秀抜選の作品展示を圧迫しないための考慮をして展示を試みた。

展示後、入選者には表装作品と共に「入選證」が贈られ好評だった。

第42回「日本の書展」東京展公募臨書 入選数一覧 <展示方法・展示期間別内訳>

	壁面展示		机上展示		計
	半切たて	半切よこ	篆 刻		
前期展示	204	38	7		249
後期展示	202	38	7		247
入選数合計	406	76	14		496

第42回「日本の書展」東京展公募臨書 入選数一覧 <作品ジャンル別内訳>

	漢 字		仮 名		篆 刻
	半切たて	半切よこ	半切たて	半切よこ	
	345	20	61	56	
365		117			
入選数合計	496				

4. 「日本の書展」スペイン展

(1) 展覧会

会 期 平成25年11月14日（木）～平成26年2月2日（日）
 会 場 スペイン国立図書館
 主 催 スペイン国立図書館 在スペイン日本国大使館 （公財）全国書美術振興会
 協 賛 欧州三井物産株式会社
 開会式典 平成25年11月13日（水） 19:00～21:00
 スペイン国立図書館 エントランスホール（展覧会場前）
 開会式・内覧会・デモンストレーション
 総入場者数 18,842名

(2) デモンストレーション

講 師 漢字 有岡郊崖氏
 かな 高木厚人氏
 通 訳 Garcia Maestro Pietro Juan Daniel

① マスコミ記者会見

日 時 平成25年11月13日（水） 11:00～12:00
 会 場 スペイン国立図書館 エントランスホール（展覧会場前）

② 開会式

日 時 平成25年11月13日（水） 19:50～20:50
 会 場 スペイン国立図書館 エントランスホール（展覧会場前）

③マドリード州立語学学校

日 時 平成25年11月13日(木) 17:00-18:45

会 場 マドリード州立語学学校 講堂

(3)巡回展

①サラマンカ展

会 期 平成26年2月11日(火)～3月14日(金)

会 場 サラマンカ大学日西文化センター美智子さまホール

総入場者数 466名

②メリダ展

会 期 平成26年4月4日(金)～4月28日(月)

会 場 エストレマドゥーラ州議会展示場

総入場者数 1,360名

③アリカンテ展

会 期 平成26年5月26日(月)～7月26日(土)

会 場 アリカンテ大学附属美術館

総入場者数 3,416名

Ⅱ. 書美術功労者の顕彰

文化勲章を受章された高木聖鶴名誉顧問の功労を顕彰し、記念品を贈呈した。

以 上